

平成27年度 事業報告

法人全般

法人としての取組

■三大学学長会議

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を毎月1回定期的に行い、各大学の近況を報告し、共通性のある課題を検討しています。また、学園の将来構想を具現化するための検討を始めとし、更には、学園として各種の規程の改正や定員是正の問題などについての意見を求め、三大学の足並みが揃うように調整を行いました。

■諸規程の見直し

・就業規則の変更

就業規則について、配偶者の出産時における家庭生活支援を推進するために休暇制度を見直す等、現在の社会環境に応じた内容に変更し、平成27年4月1日に施行しました。

・懲戒処分に係る規程の整備

懲戒処分に係る規程及び懲戒処分の指針を整備し、平成27年4月1日に施行しコンプライアンスの徹底に努めました。

・学長等選考規程

学校教育法等の改正に伴い、学長選考規程、学部長選考規程、研究科長選考規程の見直しを行い、学園として統一した選考規程を整備し、平成27年4月1日に施行しました。

・旅費規程

経費削減の観点から国内旅費規程及び海外旅費規程の見直しを行い、平成27年4月1日に施行しました。

■教職員の人材育成

・職員研修

平成25年度に研修の基盤づくりが一区切りしたことに伴い、今後2年間は、一般職員（特に若手職員）及び管理職（次世代を担う役職者）を中心として体系的な研修を実施しました。

テーマ/タイトル	研修対象
加計学園の職員として	新採用職員
新採用事務職員研修会①	事務職員初任者 (主に採用1~3年目)
設置校別入試総括と今年の方針(大学編)	学園職員 (主に大学職員)
公平から公正へ、大学入学希望者学力評価テストの目指すもの(中教審答申を踏まえて)	学園職員 (主に大学職員)
ハラスメント防止講演会	学園職員
経常費補助金の概要と実務処理について	学園職員
新採用事務職員研修会②	事務職員初任者 (主に採用1~3年目)
役職者研修(大学事務職員論)	学園職員(役職者)
知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略	学園職員
管理者メンタルヘルス教育研修会	学園職員(役職者)
障害者支援講演会	学園職員
大学改革を推進するための組織マネジメント	学園職員
役職者研修 ①プレセミナー	学園職員 (課長以上)
②マネージメントと自己理解	
③マネージャーの役割と問題抽出	
④マネージメントスキル(人づくりの工夫)	
⑤マネージメントスキル(行動づくりと業績創造の工夫)	
異文化理解のために	事務職員初任者 (主に採用1~3年目)
① コミュニケーションツールの制作	
② アメリカ・ブラジル研修団の来訪に伴い ・安芸太田町における1泊研修のサポート ・加計国際まつり(国際屋台の運営)	
③ 国際日本語弁論大会開催に伴い ・予選会の運営サポート(ミャンマー、マレーシア) ・設置校訪問のサポート ・本大会の企画運営のサポート	
④ 研修成果発表会	



・進化する自己点検・勤務考課

事務職員一人ひとりが、業務改善や連携の強化など活力ある組織を目指すべく、各部署・個人ごとに目標を持って取り組みます。5か年計画の最後の年度になることから、各部署の業務内容について、統一様式の検討を行いました。

・私立大学等経常費補助金研修会

経常費補助金の知識の向上と精度の高い補助金申請を目指して、補助金研修会を行いました。

① 7月10日（金）於：岡山理科大学

② 7月13日（月）於：倉敷芸術科学大学

③ 9月8日（火）於：千葉科学大学

・学校法人会計基準の一部改正

平成27年4月1日施行の学校法人会計基準に対応した計算書を作成しました。

■労務管理

・外国人雇用

グローバル化に対応するため外国人雇用における労働契約及び労働条件について検討を行いました。

・メンタルヘルス

労働安全衛生法改正に伴い、平成27年12月1日以降に実施義務となったストレスチェック制度について衛生委員会にて審議し、本年度よりストレスチェックに関する規程を整備するとともに、実施に向けた準備を進め、メンタル不調者への職場復帰支援についても検討を行いました。

・改正労働契約法への対応

平成24年8月10日公布の労働契約法改正による、有期雇用労働者の雇用の在り方について、引き続き検討し、大学非常勤講師の就業に関する規程を整備し、12月1日に施行しました。

・次世代育成支援行動計画の策定

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画（第3期：平成27年4月1日から5か年間）を策

定しました。

・リスク管理

自然災害等の緊急時対応リスク、業務リスク等の緊急時対応リスク以外のリスク、コンプライアンスリスク等、リスク内容の洗い出しを行いました。

・災害対策

防災訓練、救急救命講習等を実施し、自然災害についての認識を深め、救助工具の設置、備蓄食糧等を含めた災害に対する備えを充実させます。



・マイナンバー制への対応

平成27年10月から通知されるマイナンバーの収集及び取り扱いに対応できる体制を構築するにあたり、学園特定個人情報取扱規程を整備し、研修会の実施により周知を図るとともに、収集・保管管理対策を講じました。

■環境整備事業

・省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的に開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。毎年度、原単位（エネルギー使用量を床面積で除した値）が1%削減を目標に取り組み、今年度も削減目標を達成しました。

・環境整備

学生生徒及び職員にとってより快適な学習・研究及び職場環境の提供に努めていきます。

50周年記念館周辺及び正門前道路側面の草花植栽を行いました。

岡山理科大学A1号館が平成28年3月18日に竣工しました。

・フロン回収・破壊法への対応

平成27年4月1日施行のフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の改正に伴い、定期点検を実施しました。

■特命事業推進

学校法人の事業活動の受注及び代行業務を行い、快適な環境整備、事業の効率化を図り、学生・生徒のインターンシップの場として積極的に活用し、教育研究活動の貢献を行いました。

■その他事業

・包括連携

を目指し、包括連携協定先と地域社会の発展と学術の振興を推進しました。

提携先	包括連携事業イベント他	
岡山県 真庭市	H27.10.11	「キッズイベントin 真庭」
岡山県 玉野市	H27.10- H27.12- H27.5-	市民公開講座の開催 (計3回) 玉野商業高校生徒の実習受け入れ (計2回) 玉野港フェスティバル参加 (計2回)
鹿児島県 瀬戸内町	H27.8.23	「キッズイベントin加計呂麻」
岡山県 新見市	H27.9	検討委員会に学識経験者派遣
岡山県 瀬戸内市	H27.10	ワークショップ講師派遣
岡山県 備前市	H27.4 H27.8 H27.12	備前市まち・ひと・しごと創生懇談会委員派遣 世界遺産登録検討専門員派遣 「キッズイベントin備前」
広島県 安芸太田町	H26.11- H27.4	道の駅とごうち好適環境水展示水槽設置・保守支援 包括連携協定締結に伴う連携協議実施中
岡山県 津山市	H27.6	職員研修講師派遣
岡山市中央 卸売市場	H27.9、12 H27.7、10	市民市場大学参加 市民イチバデー支援
岡山県立 総社高校	H27.8 H27.11	学習合宿支援(御津国際交流会館) 3年生・教員58名 2泊3日 学習合宿支援(御津国際交流会館) 2年生・教員46名 1泊2日

収益事業

■収益事業部

神戸市東灘区に開設した御影インターナショナルこども園、M-KISS (学童保育事業) 及び御影小規模保育ルームでは、それぞれ特色ある教育・保育プログラムにもとづいて運営を行っています。

倉庫として利用していた旧建物一階の部屋が老朽化していたため、床・壁等の補修を行いました。今後は、園児の教育保育のための多目的な用途に活用して参ります。

全国的に保育士不足が大きな問題になっていますが、本園でも安定的な保育士確保のために、大学訪問や求人活動を続けて参ります。

■御影インターナショナルこども園

設置場所: 神戸市東灘区御影2丁目15-27

園長 中西元子 (8月31日付退職)

西原豊子 (9月1日付就任)

定員: 136名 (平成27年度)

・当該年度の教育保育活動実績

0～1歳児については情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行いました。10月からは0歳児にも石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養いました。

2歳児においては、前述の保育内容に加え、3歳児からのイマージョンプログラムを見据え、簡単な英語を使った生活指導を行いました。

3歳児からは英語イマージョンプログラムを開始し、専任の担当者がクラスの達成状況に応じて日々作成したプログラムに沿って、英語ネイティブ教員と日本人保育士がペアでクラスを運営しました。

今年度、4歳児が初めてCambridge国際児童英検にチャレンジしました。来年度以降も、4・5歳児が受験し、達成度を確認しながらイメージプログラムを進めて参ります。

また、今年度は、本園の教育保育に対する保護者の満足度を確認するための保護者アンケートを実施しました。概ね好結果でしたが、頂いた意見は今後の教育保育活動に役立てて参ります。

・地域への貢献

月1回程度、園庭開放日を設け、地域の子育て家庭に門戸を広げて参りました。参加した保護者の多くが、入園に興味を持っており、今後も募集活動の一環として継続して参ります。また、子育て講座、食育講演会やミニコンサートなどの催しを行いました。地域の自治会と連携し、老人会との交流も行いました。

また、地域の清掃活動や神社の行事等にも積極的に参加し、地域との交流を深めました。

■M-KISS

定 員：64名（小学校1-4年生）

・当該年度の教育活動実績

① 英語イマージョンプログラム

英語ネイティブ教員と日本人アシスタントでのクラス運営により、英語の基礎となる語彙力を習得し、フォニックス、会話、歌などを通してコミュニケーションを中心とした学習を行いました。併せて、英語の読み書きについても学習しました。

② 石井式漢字教育

絵の一部分を具体的な意味や内容を表す漢字と認識して記憶していく石井式漢字教育を通して、記憶力や想像力を養い国語教育の礎を築くことができました。

③ 宿題支援

小学校からの連絡帳を確認し、スタッフが宿題指導にあたりました。

■御影小規模保育ルーム

定 員：19名（0歳児～2歳児）

・当該年度の保育活動実績

0-2歳児を受け入れている本園では、個々の発達段階に応じて、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度を身につけるための保育を行うことができました。また、1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れました。

国際交流関係

■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在、国際18カ国70校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

なお、既に四半世紀継続しているアメリカ、ブラジル学生研修団に対して岡山での最終日に岡山理科大学スカイテラスにて「KAKE国際祭」を開催しました。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など500名以上の参加があり、在籍留学生による中国、韓国、マレーシア、ネパール、ベトナム、理大ハラルレストランなどの国際屋台が出店しました。

■第五回加計学園杯日本語弁論国際大会

第五回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を8～10月に10カ国計14会場にて開催しました。これら予選で選抜された14名の出場者による決勝大会を11月27日(金)に岡山理科大学にて開催しました。

約500名が来場され、ファイナリストは「テーマ：「未来へ伝えたいこと」について熱弁し、最優秀賞には中国四川外国語大学の唐林芳さんが選ばれました。



■第六回加計杯日本語弁論大会

本学園の設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を11月21日（土）に岡山理科大学にて開催しました。中国、韓国、スリランカ、インドネシア、ベトナムなどの国々の留学生が出場し、スピーチを行いました。

■海外支局長会議

年に数回海外支局長TV会議を開催し、勉強会・報告会を通じて、海外支局長同士の連携を深め、情報交換を行いました。

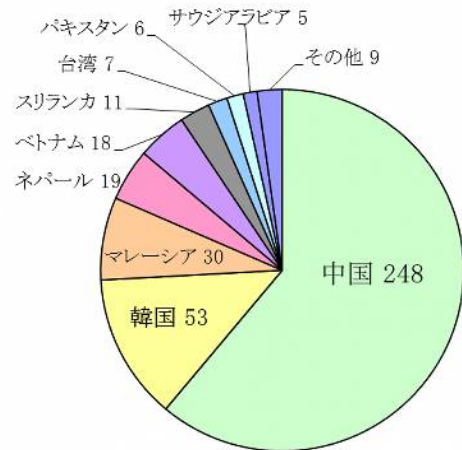
11月26日には平成27年度秋期海外支局長会議を、28日に海外支局長勉強会を開催しました。

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	実行
アメリカ	受入: ライト大学仕事体験生2名 (岡山理科大学) 受入: フィンドリー大学仕事体験生1名 (千葉科学大学)	4～3月
韓国	受入: 湖西大学短期交換留学生 (単位互換履修生) (岡山理科大2名、倉敷芸術科学大学1名、千葉科学大学1名)	9～3月
台湾	受入: 致理技術学院短期交換留学生 (科目等履修生) 9名 (岡山理科大学5名・倉敷芸術科学大学4名)	4～2月
アメリカ	受入: フィンドリー大学学生訪日研修団9名 受入: ライト大学学生訪日研	6.29～7.22

	修団11名	
ブラジル	受入: パラナ連邦大学4名、パラナ・カトリカ大学7名訪日研修団	6.29～7.22
台湾	受入: 致理技術学院学生研修団24名	5.27～6.5
中国	受入: 江蘇省高校生訪日研修団31名	7.12～7.14
中国	受入: 江蘇省高校生訪日研修団39名	7.26～7.28
韓国	受入: 江南スカイ学院訪日文化研修団	7.28～8.6
韓国	受入: 湖西大学訪日研修団16名	8.3
ブラジル	派遣: パラナ連邦大学・パラカトリカ大学へ学生研修団3名	8.11～9.4
アメリカ	派遣: フィンドリー大学へ学生研修団7名	8.11～9.4
アメリカ	派遣: ライト大学へ学生研修団9名	8.13～9.7
韓国	派遣: 湖西大学へ学生研修団1名	8.22～8.31
台湾	派遣: 致理技術学院へ学生研修団4名	8.27～9.3
韓国	受入: ①全南女子商業高校教員研修団	8.27～8.30
韓国	受入: ②全南女子商業高校生徒研修団	1.19
韓国	受入: 木洞高校高校生訪日研修団	1.24～1.27

■国別留学生内訳 (平成27年5月1日現在)



総数: 406名

■海外交流協定校（平成28年3月31日）

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院、河南城建学院	14校
	（留学生募集に関する提携校） 内蒙古智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林動画学院、他	(31校)
韓国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学、ムーアパークカレッジ	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・パトリカウィッダチャーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	2校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校、フィリピン日本語文化学院	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
モンゴール	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター	1校

組織

■組織

学校教育法等の改正に伴い、平成26年3月に学内諸規程の見直しを行い、各設置校から総長を外し、学園の総長としたことに伴い、法人本部事務局、理事長直轄機関、総長直轄機関についても見直しを行い、平成27年度より新組織の下取り組みました。

また、4月1日付で、加計特別編纂室を新設しました。今後、歴史・系譜の編纂に関する業務を行いました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	3	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	28	4	32

(平成27年5月1日現在)

■役員について

平成27年4月1日：河野伊一郎理事就任

平成27年12月23日：河野昌晴理事退任

平成28年3月31日：波田善夫理事退任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年9月 学校法人加計学園認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年4月 岡山電機工業高等学校開校（全日制） 初代校長に、神崎栄一郎就任
- 昭和39年1月 岡山理科大学設置認可
- 2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校と改称
- 4月 岡山理科大学開学（理学部） 初代学長に、加計勉就任
- 昭和42年4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
- 岡山理科大学附属高等学校第3代校長として、中尾寿夫就任
- 昭和50年4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に、中尾寿夫就任
- 昭和51年4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校と改称
- 昭和53年4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和55年4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
- 岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
- 岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として、片山誠二就任

- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に、加計勉就任
- 昭和 59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和 61年 4月 岡山理科大学工学部設置
- 岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
- 岡山高等建築専門学校を**岡山理科大学専門学校**と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
- 岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年 12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に、谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
- 12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成 10年 4月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に、金政泰弘就任
- 岡山理科大学附属高等学校第8代校長に、三木輝知就任
- 岡山理科大学専門学校第3代校長に、村上侑就任
- 平成 11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に、土井章就任
- 倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成 12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更
- 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成 13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に、加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
- 倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
- 玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に変更
- 岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成 14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
- 岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
- 岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
- 岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成 15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成 16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に、宮垣嘉也就任
- 倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
- 倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
- 倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
- 千葉科学大学**開学 初代学長に、平野敏右就任
- 倉敷芸術科学大学専門学校**開校 初代校長に、岡本繁通就任
- 平成 17年 4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に、添田喬就任
- 岡山理科大学附属高等学校第10代校長に、橋爪道彦就任
- 岡山理科大学附属中学校第2代校長に、新倉正和就任

- 岡山理科大学専門学校第5代校長に、圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第2代校長に、岡田茂就任
- 平成19年4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に、伊藤敏夫就任
- 平成20年4月 岡山理科大学第7代学長に、波田善夫就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科を設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に、小林正文就任
- 平成22年3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部を廃止
- 平成22年4月 千葉科学大学第2代学長に、赤木靖春就任
玉野総合医療専門学校第3代校長に、高井研一就任
倉敷 食と器 専門学校第3代校長に、川上雅之就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
- 平成23年4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に、亀井秀人就任
10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に、唐木英明就任
- 平成24年4月 岡山理科大学附属高等学校第11代校長に、宮垣嘉也就任
岡山理科大学附属中学校第3代校長に、位田隆久就任
岡山理科大学専門学校第7代校長に、村岡正就任
岡山理科大学生物地球学部設置
倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置
千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置
- 平成24年7月 千葉科学大学大学院薬学研究科について、薬学科（4年制）を基礎とした薬学専攻修士課程を廃止
- 平成25年3月 倉敷 食と器 専門学校閉校
- 平成26年4月 倉敷芸術科学大学芸術学部デザイン学科をデザイン芸術学科に名称変更
倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科を動物生命科学科に名称変更
倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、生命科学部健康医療学科募集停止
倉敷芸術科学大学別科 調理師別科、製菓衛生師別科募集停止
千葉科学大学看護学部設置
認可外保育所 御影インターナショナルこども園 開園
倉敷芸術科学大学第5代学長に土井章就任
- 5月 加計学園、中国 河南城建学院と教育交流協定締結
7月 加計学園、中国 国立樹木園と野外における共同研究と教育に関する覚書締結
10月 岡山理科大学附属高等学校全日制課程教育学科設置認可
- 平成27年3月 倉敷芸術科学大学別科調理師別科、製菓衛生師別科を廃止
千葉科学大学薬学部動物生命薬科学科を廃止
- 4月 岡山理科大学工学部生体医工学科を生命医療工学科に名称変更
倉敷芸術科学大学第6代学長に河野伊一郎就任
岡山理科大学附属高等学校全日制課程教育学科を設置
岡山理科大学附属高等学校電機情報科募集停止
- 平成27年4月 岡山理科大学附属中学校第4代校長に河村定彦就任
玉野総合医療専門学校第4代校長に平井義一就任

小規模保育事業御影インターナショナルこども園御影小規模保育ルーム開園
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部 IT 科学科、起業経営学科を廃止

8月 岡山理科大学教育学部初等教育学科、中等教育学科認可

平成 28 年 3 月 岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程生物地球システム専攻募集停止

岡山理科大学総合情報学部建築学科廃止

倉敷芸術科学大学産業科学技術学部 IT 科学科(通信教育課程)廃止

■設置校概況

平成27年5月1日現在
(単位：人)

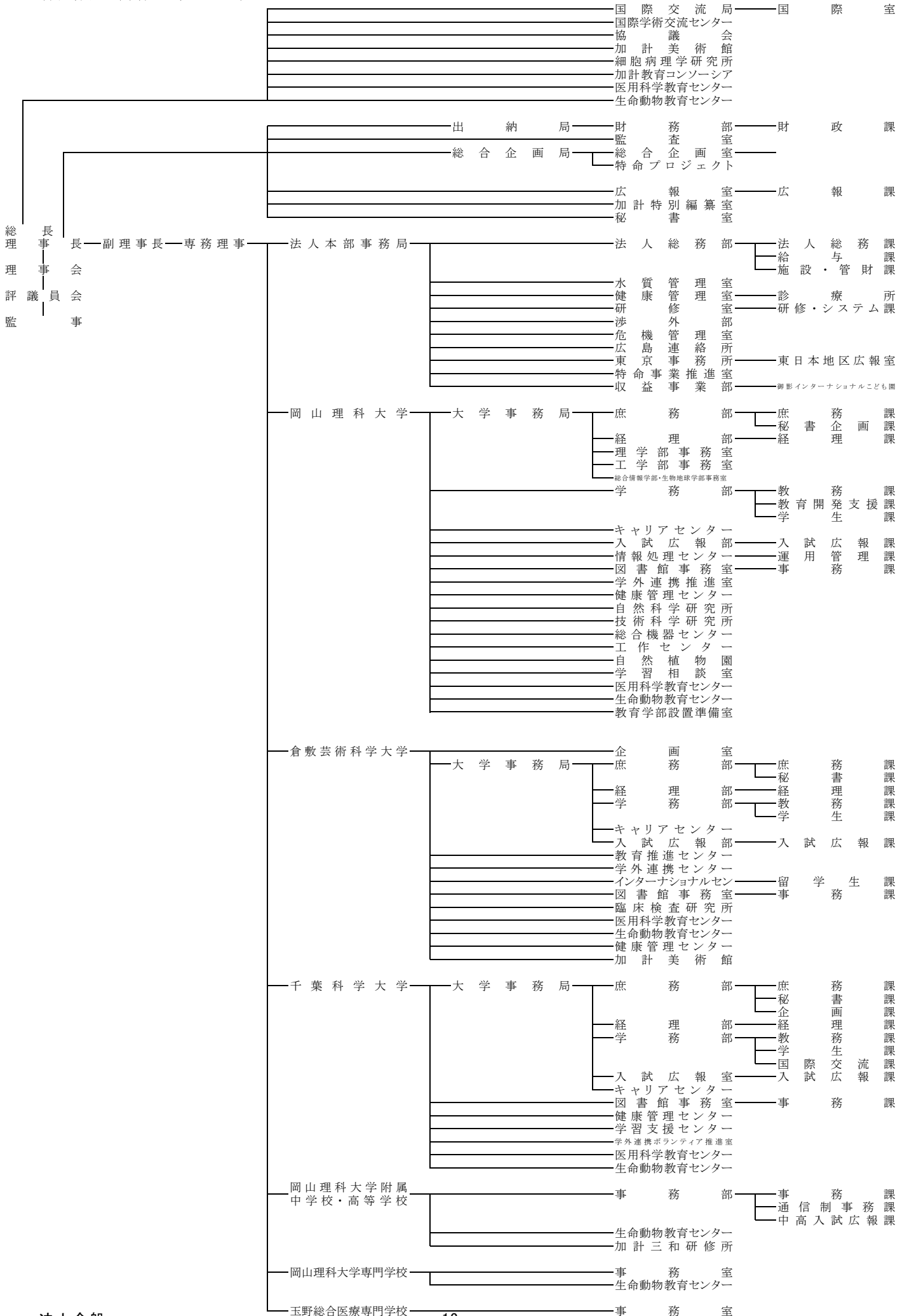
区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,554	6,198	269	210	479
大学院	384	214		(本部) 96 (理大) 114	
理学研究科	191	106			
工学研究科	147	73			
総合情報研究科	46	35			
学部	5,170	5,984			
理 学 部	2,080	2,406			
工 学 部	2,010	2,298			
総合情報学部	640	777			
生物地球学部	440	503			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,042	1,468	100	61	161
大学院	126	36			
芸術研究科	52	15			
産業科学技術研究科	44	15			
人間文化研究科	30	6			
学部	1,796	1,422			
芸術学部	424	335			
産業科学技術学部	388	176			
生命科学部	984	911			
大学院 (通信制)	120	9			
芸術研究科 修士課程	20	4			
産業科学技術研究科 修士課程	40	0			
人間文化研究科 修士課程	60	5			
学部(通信教育課程)	0	1			
産業科学技術学部(通信教育課程)	0	1			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,316	1,951	125	53	178
大学院	66	24			
薬科学研究科	47	9			
危機管理学研究科	19	15			
学部	2,250	1,927			
薬学部	890	753			
危機管理学部	1,200	989			
看護学部	160	185			
岡山理科大学附属高等学校	2,100	1,347	74	22	96
全日制	1,500	1,124			
通信制(1～3年定員:600名)	600	223			
岡山理科大学附属中学校	240	167	18		18
岡山理科大学専門学校	490	380	12	10	22
工業専門課程(建築)	120	121			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, ドッグ, フット)	370	259			
玉野総合医療専門学校	560	459	32	8	40
医療専門課程(保健看護, 理学療法, 作業療法)	480	415			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	44			
合 計	13,302	11,970	630	364	994

※別科、専攻科等除く

学校法人 加計学園 法人本部	収容定員	在園者数		こども園 教職員	
収益事業 (御影インターナショナルこども園)	136	52		(5)	

()は本部職員内数

■事務組織図（平成27年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,840,768,240
手数料収入	288,489,636
寄付金収入	76,095,114
補助金収入	1,799,470,425
資産運用収入	400,000,000
付帯事業・収益事業収入	159,598,496
受取利息・配当金収入	64,701,570
雑収入	1,160,952,572
借入金等収入	3,080,820,000
前受金収入	2,242,292,100
その他の収入	1,957,268,765
資金収支調整勘定	△ 3,481,198,948
前年度繰越支払資金	19,446,267,899
計	43,035,525,869

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,931,187,329
教育研究経費支出	3,768,225,496
管理経費支出	1,326,455,982
借入金等利息支出	92,731,915
借入金等返済支出	1,086,535,000
施設関係支出	4,745,902,398
設備関係支出	952,719,967
資産運用支出	1,131,518,200
その他の支出	1,204,582,517
資金支出調整勘定	△ 2,605,344,959
次年度繰越支払資金	19,401,012,024
計	43,035,525,869

■事業活動収支計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業活動収支

事業活動収入の部 (単位：円)

		科 目	金 額
教育活動収入	収入	学生生徒等納付金	15,840,768,240
		経常費等補助金	1,798,395,425
		その他収入	1,665,931,844
	計	19,305,095,509	
教育活動支出	支出	人件費	11,670,525,264
		教育研究経費	5,346,699,873
		管理経費	1,737,774,124
		その他支出	2,563,742
計	18,757,563,003		
		教育活動収支差額	547,532,506
教育活動外	収入	受取利息等	64,701,570
	支出	借入金利息等	92,731,915
	教育活動外収支差額	△ 28,030,345	
		経常収支差額	519,502,161
特別	収入	資産売却差額等	36,755,194
	支出	資産処分差額等	116,571,290
		特別収支差額	△ 79,816,096

基本金組入前収支差額	439,686,065
基本金組入額合計	△ 479,019,297
当年度収支差額	△ 39,333,232
前年度繰越収支差額	△ 14,261,548,266
基本金取崩額	357,740,375
翌年度繰越収支差額	△ 13,943,141,123

■貸借対照表（平成28年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	65,743,590,108
有形固定資産	59,638,911,646
特定資産	4,248,805,052
その他の固定資産	1,855,873,410
流動資産	21,483,018,261
資産の部合計	87,226,608,369

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	15,730,704,661
流動負債	5,292,094,432
負債の部合計	21,022,799,093

純資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金	80,146,950,399
繰越収支差額	△ 13,943,141,123
純資産の部合計	66,203,809,276
科 目	金 額
負債及び純資産の部合計	87,226,608,369

■財産目録（平成28年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一 資産額	
(一) 基本財産	64,380,062,874
1. 土地	15,846,276,024
借地権	388,140,000
2. 建物	32,696,191,372
(1)校舎	27,431,548,283
(2)図書館	355,488,119
(3)体育館	2,143,229,429
(4)寄宿舎	339,866,075
(5)倉庫	18,944,068
(6)その他	2,407,115,398
3. 建設仮勘定	86,525,970
4. 構築物	990,447,520
5. 図書	6,866,988,325
6. 教具・校具・備品	3,124,189,878
7. ソフトウェア	104,206,176
8. 車両運搬具	28,292,557
9. 特定資産	4,248,805,052
(二) 運用財産	22,846,545,495
1. 預金、現金	19,401,012,024
2. 出資金	169,859,400
3. 有価証券	893,681,477
4. 未収金	1,053,707,605
5. 仮払金	11,279,971
6. 差入保証金	100,271,010
7. 前払金	121,273,445
8. 貯蔵品	2,063,739
9. 収益事業元入金	720,396,824
10. 長期貸付金	373,000,000
合 計	87,226,608,369
二 負債額	
1. 固定負債	15,730,704,661
(1)長期借入金	10,382,407,000
(2)学校債	1,880,000
(3)長期未払金	1,539,869,270
(4)退職給与引当金	3,806,548,391
2. 流動負債	5,292,094,432
(1)短期借入金	1,521,640,000
(2)学校債	1,420,000
(3)未払金	944,382,827
(4)前受金	2,242,292,100
(5)預り金	576,798,550
(6)仮受金	5,560,955
合 計	21,022,799,093

■財務比率

事業活動収支計算書（平成26年度までは消費収支計算書）及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示した。

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	区 分		27年度	
分類	比 率					算式（×100）	分類		比 率
貸借対照表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△15.9%	△17.0%	△18.3%	△17.1%	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債＋純資産}}$	△16.0%
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.5%	89.8%	89.8%	88.7%	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	85.9%
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	92.6%	89.7%	91.0%	94.1%	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	99.3%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金＋固定負債}}$	76.9%	75.6%	77.3%	78.2%	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産＋固定負債}}$	80.2%
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	491.0%	542.8%	473.7%	528.3%	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	405.9%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	907.1%	917.2%	830.3%	803.7%	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	865.2%
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.6%	20.1%	19.9%	21.0%	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.1%
	負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	18.8%	17.3%	16.9%	18.1%	負債率	$\frac{\text{総負債－前受金}}{\text{総資産}}$	21.3%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{基本金要組入額}}$	73.6%	74.0%	73.1%	72.9%	基本金実質組入率	$\frac{\text{純資産}}{\text{基本金要組入額}}$	70.9%
消費費収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	71.4%	58.2%	59.7%	57.8%	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.3%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	30.4%	28.8%	29.3%	27.8%	教育研究経費構成比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{事業活動支出}}$	28.2%
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.0%	8.6%	9.5%	10.8%	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.0%
	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	113.3%	96.6%	100.6%	97.5%	事業活動支出比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}}$	97.7%
	経常経費依存率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	145.5%	120.6%	124.8%	123.4%	経常経費依存率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	119.7%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	77.9%	80.1%	80.6%	79.0%	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	81.8%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	1.8%	0.4%	0.5%	2.4%	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6%
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	14.5%	13.5%	11.6%	12.1%	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.3%
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	6.2%	7.4%	4.4%	0.7%	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.5%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P 等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
岡山理科大学	703,160		9,814	1,670	1,462	716,106
倉敷芸術科学大学	289,961		18,273		133	308,367
千葉科学大学	344,762		7,103	616	190	352,671
岡山理科大学附属高等学校				4,829	328,498	333,327
岡山理科大学附属中学校					62,989	62,989
岡山理科大学専門学校					971	971
玉野総合医療専門学校					25,039	25,039
合 計	1,337,883	0	35,190	7,115	419,282	1,799,470

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P 等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	30 件	38 件	50 件	83,030 千円
理学部	10	9	23	43,680
工学部	10	19	12	16,900
総合情報学部	0	1	8	10,660
生物地球学部	7	3	6	10,790
附属施設	3	6	0	0
その他	0	0	1	1,000
倉敷芸術科学大学	6	7	6	38,792
芸術学部	2	2	1	5,771
産業科学技術学部	1	3	1	11,830
生命科学部	3	2	4	21,191
千葉科学大学	8	6	25	21,982
薬学部	1	4	10	10,235
危機管理学部	7	2	8	5,544
看護学部	0	0	7	6,203
合 計	44	51	81	143,804